

平成25年10～12月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

① 今期の業況判断

今期(平成25年10～12月期)の業況判断D Iは(-)60.4で、前期(平成25年7～9月期)(-64.0)に比べ、3.6ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期(平成26年1～3月期)の業況見通しD Iは(-)60.1で、今期の業況判断(-60.4)に比べ、0.3ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 -調査産業計-



表1 業況判断の割合 -調査産業計-

		平成24年	25年			26年	
		10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)							
良い/好転		3.5	2.8	3.5	3.0	4.1	2.8
普通/不変		25.6	27.2	31.2	30.0	31.4	34.3
悪い/悪化		71.0	70.1	65.3	67.0	64.5	62.9
D I		-67.5	-67.3	-61.8	-64.0	-60.4	-60.1
	参考						
	日銀短観(大企業全産業計)	-3	-1	8	13	18	16
	中小企業景況調査(全産業計)	-38.3	-38.8	-29.5	-29.0	-25.0	-17.5

(注) 「中小企業景況調査」: (独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成26年1月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	247万4000円で、前年同期に比べ、7.8%の減少
□「卸売業、小売業」は	437万6000円で、前年同期に比べ、1.2%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	224万9000円で、前年同期に比べ、2.7%の増加
□「サービス業」は	127万4000円で、前年同期に比べ、1.3%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	67万6000円で、前年同期に比べ、11.6%の減少
□「卸売業、小売業」は	44万1000円で、前年同期に比べ、1.4%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	40万6000円で、前年同期に比べ、4.1%の増加
□「サービス業」は	44万8000円で、前年同期に比べ、3.2%の減少

※前年同期(平成24年10～12月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成23年 10～12月期	2,364	674	4,477	447	2,113	400	1,301	505
	平成24年 1～3月期	2,485	633	3,957	385	1,963	363	1,102	396
	4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
	7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
	10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年 1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
	4～6月期	2,183	630	3,932	398	2,087	424	1,405	522
	7～9月期	2,119	651	3,969	446	2,158	433	1,274	437
10～12月期	2,474	676	4,376	441	2,249	406	1,274	448	
前年同期比 (%)	平成23年 10～12月期	-10.0	-4.4	-2.0	-17.8	-8.0	-6.5	-1.9	7.0
	平成24年 1～3月期	21.7	9.0	-3.5	-15.0	-4.7	0.6	-9.7	-0.8
	4～6月期	21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9	-10.1
	7～9月期	10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
	10～12月期	13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
	平成25年 1～3月期	-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8
	4～6月期	-12.5	4.0	-8.1	-4.1	0.0	21.8	16.7	16.8
	7～9月期	-9.1	6.4	-5.5	3.0	-0.3	22.3	8.8	5.0
10～12月期	-7.8	-11.6	-1.2	1.4	2.7	4.1	-1.3	-3.2	

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	12万2000円で、前年同期(13万1000円)に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	8万9000円で、前年同期(6万円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	8万9000円で、前年同期(6万4000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	4万4000円で、前年同期(7万4000円)に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	4.9%で、前年同期(4.9%)と同率
□「卸売業、小売業」は	2.0%で、前年同期(1.4%)に比べ、0.6ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	4.0%で、前年同期(2.9%)に比べ、1.1ポイントの上昇
□「サービス業」は	3.5%で、前年同期(5.7%)に比べ、2.2ポイントの低下

※前年同期(平成24年10～12月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成23年	10～12月期	76	3.2	86	1.9	121	5.7	83	6.4
平成24年	1～3月期	79	3.2	49	1.2	53	2.7	56	5.1
	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
平成25年	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1
	4～6月期	56	2.6	118	3.0	59	2.8	63	4.5
	7～9月期	139	6.6	81	2.0	78	3.6	45	3.5
	10～12月期	122	4.9	89	2.0	89	4.0	44	3.5

II 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年10～12月期）の業況判断DIは(-)60.4で、前期（平成25年7～9月期）(-64.0)に比べ、3.6ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断DIは(-)42.2で、前期(-48.6)に比べ、6.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)50.6で、前期(-55.1)に比べ、4.5ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年1～3月期）の業況見通しDIは(-)60.1で、今期の業況判断(-60.4)に比べ、0.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断DIの推移 -調査産業計-

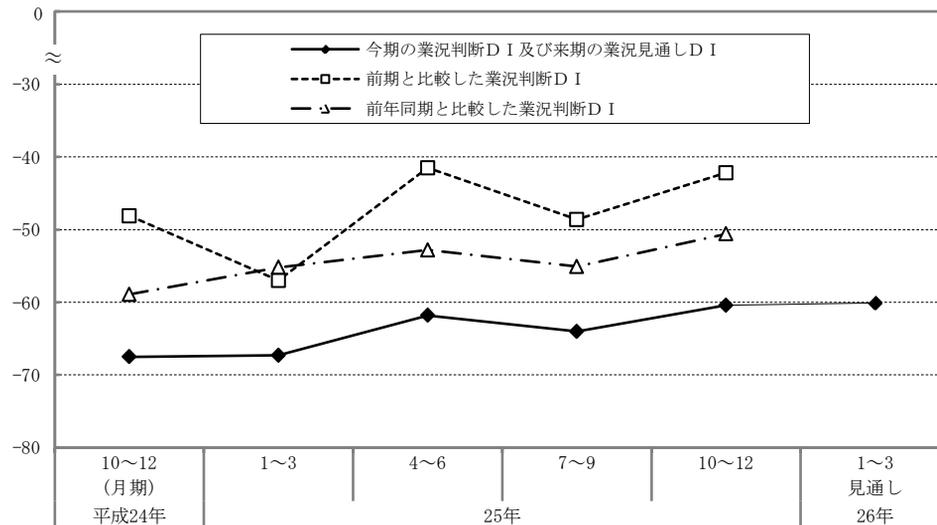
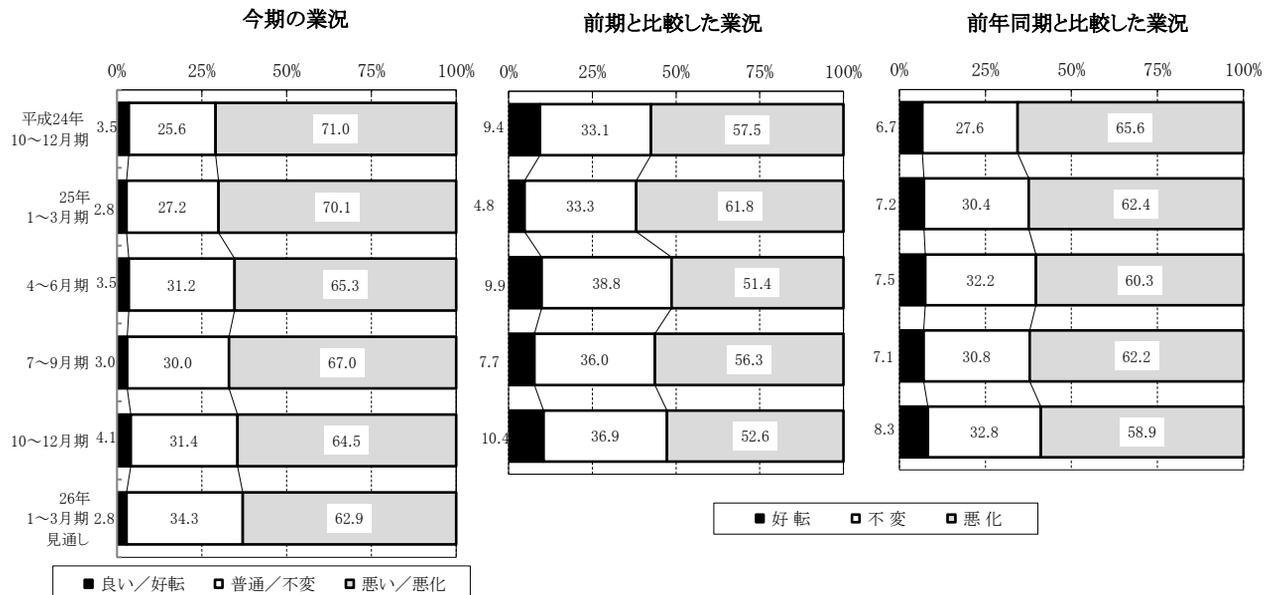


図3 業況判断の割合 -調査産業計-



(2) 売上の状況

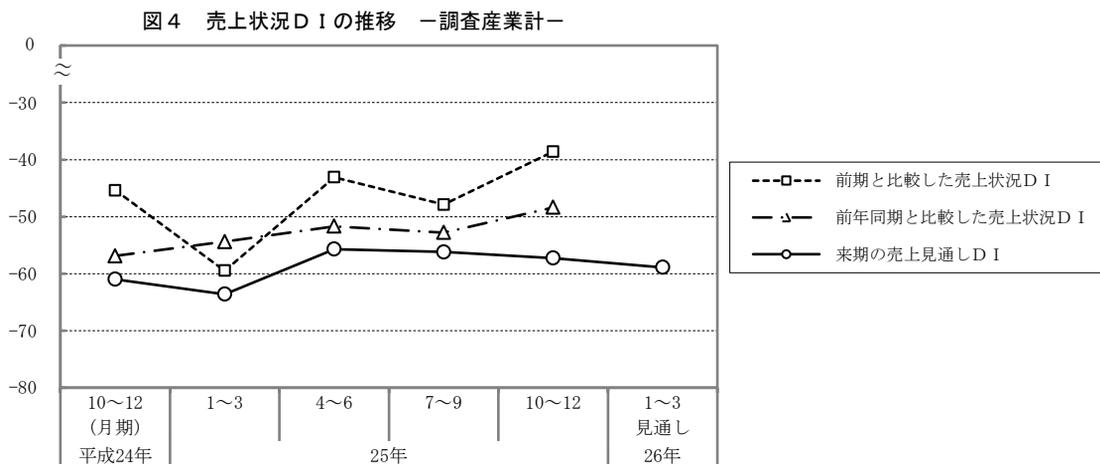
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)38.6 で、前期 (-47.9) に比べ、9.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)48.4 で、前期 (-52.8) に比べ、4.4 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)58.9 で、前期における今期の売上見通し (-57.3) に比べ、1.6 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

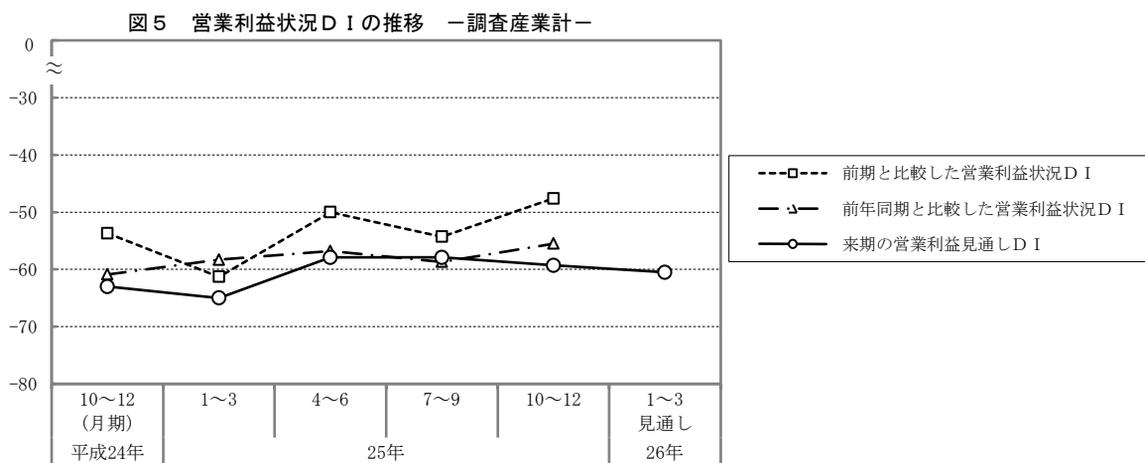
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)47.6 で、前期 (-54.3) に比べ、6.7 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)55.5 で、前期 (-58.7) に比べ、3.2 ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

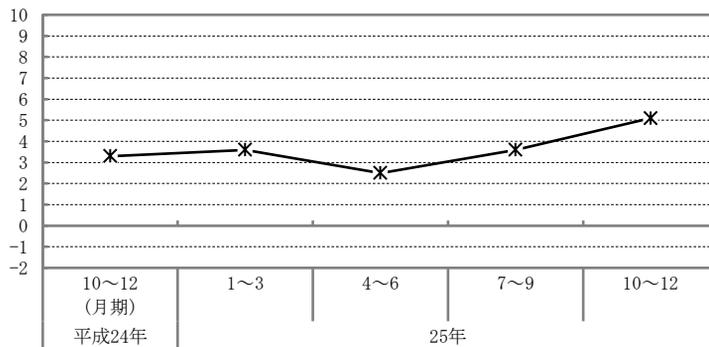
来期の営業利益見通しD Iは (-)60.5 で、前期における今期の営業利益見通し (-59.3) に比べ、1.2ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)5.1 で、前期 (+3.6) に比べ、1.5 ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

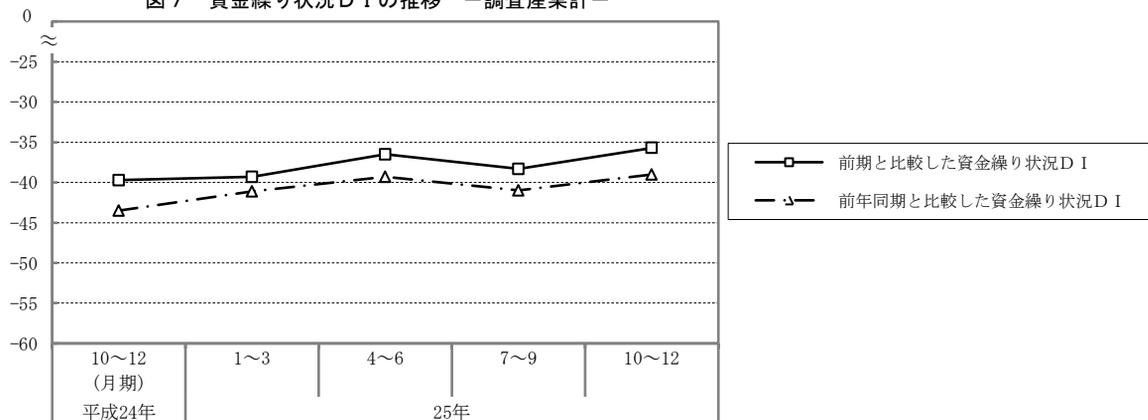


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.7 で、前期 (-38.3) に比べ、2.6 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.0 で、前期 (-41.0) に比べ、2.0 ポイント改善した。

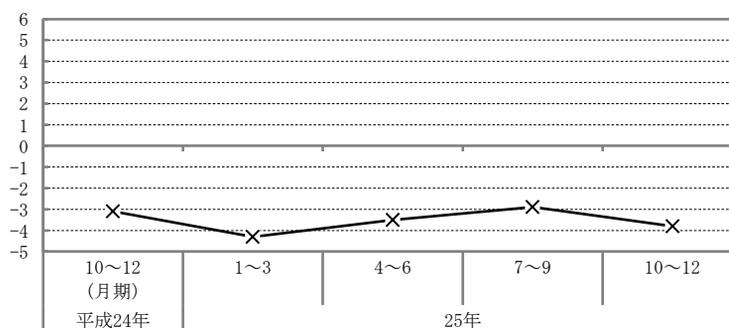
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.8 で、前期 (-2.9) に比べ、0.9ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年10～12月期）の業況判断DIは(-)42.4で、前期（平成25年7～9月期）(-56.8)に比べ、14.4ポイント改善した。

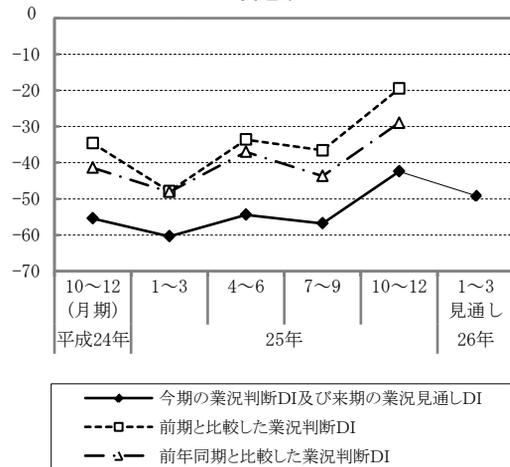
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)19.5で、前期(-36.6)に比べ、17.1ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)29.0で、前期(-43.7)に比べ、14.7ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年1～3月期）の業況見通しDIは(-)49.1で、今期の業況判断(-42.4)に比べ、6.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

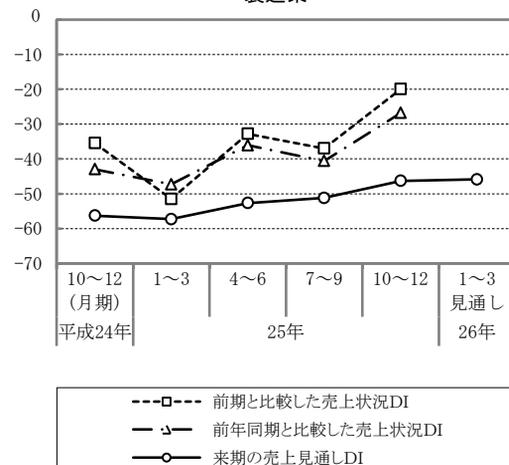
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)20.0で、前期(-37.0)に比べ、17.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)26.8で、前期(-40.6)に比べ、13.8ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)45.9で、前期における今期の売上見通し(-46.3)に比べ、0.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

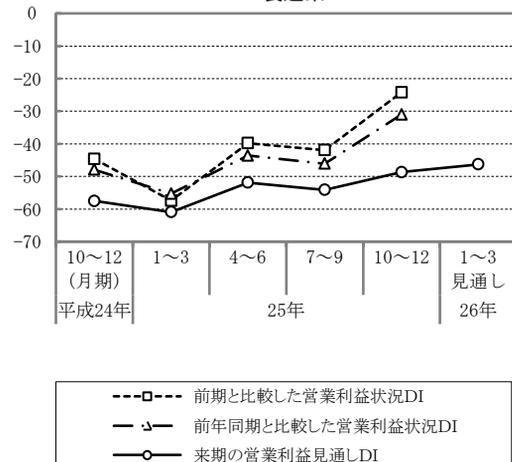
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)24.2で、前期(-41.9)に比べ、17.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)31.0で、前期(-46.1)に比べ、15.1ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)46.3で、前期における今期の営業利益見通し(-48.7)に比べ、2.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.7 で、前期 (+0.8) に比べ、1.9 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)26.3 で、前期 (-34.7) に比べ、8.4 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.5 で、前期 (-36.2) に比べ、5.7 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)4.1 で、前期 (-2.1) に比べ、2.0 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 - 製造業 -

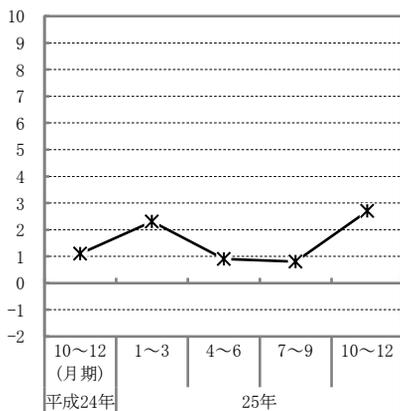


図13 資金繰り状況DIの推移 - 製造業 -

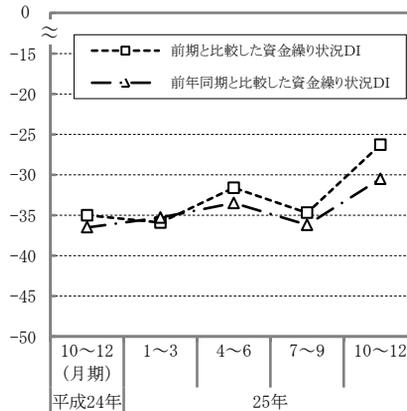
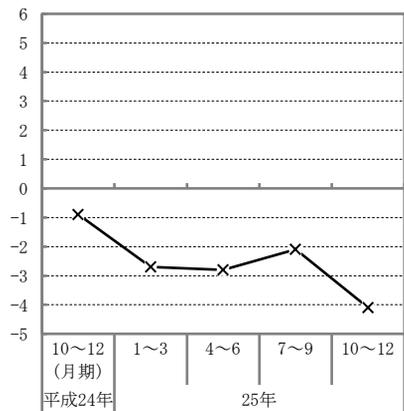


図14 雇用状況DIの推移 - 製造業 -



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年10~12月期）の業況判断DIは (-)62.5 で、前期（平成25年7~9月期） (-65.0) に比べ、2.5 ポイント改善した。

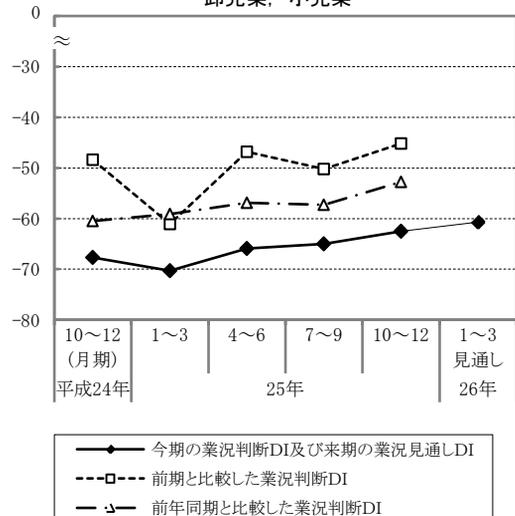
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)45.2 で、前期 (-50.2) に比べ、5.0 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年10~12月期）と比較した業況判断DIは (-)52.8 で、前期 (-57.3) に比べ、4.5 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年1~3月期）の業況見通しDIは (-)60.7 で、今期の業況判断 (-62.5) に比べ、1.8 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 - 卸売業、小売業 -



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

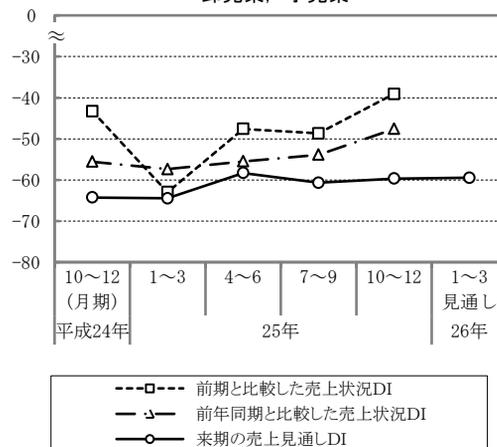
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)39.1で、前期(-48.7)に比べ、9.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)47.6で、前期(-53.9)に比べ、6.3ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)59.5で、前期における今期の売上見通し(-59.7)に比べ、0.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)49.5で、前期(-55.7)に比べ、6.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.7で、前期(-60.6)に比べ、2.9ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)62.1で、前期における今期の営業利益見通し(-60.8)に比べ、1.3ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)7.9で、前期(+4.0)に比べ、3.9ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)36.7で、前期(-37.9)に比べ、1.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.9で、前期(-41.7)に比べ、2.8ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)3.0で、前期(-3.2)に比べ、0.2ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

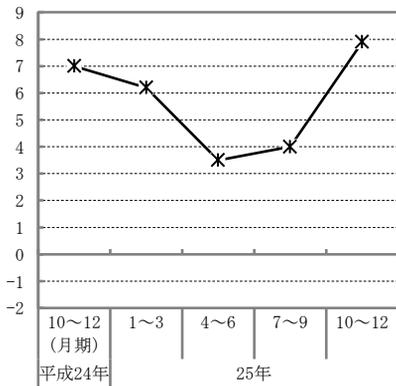


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

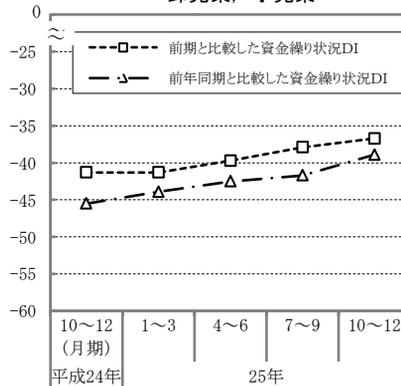
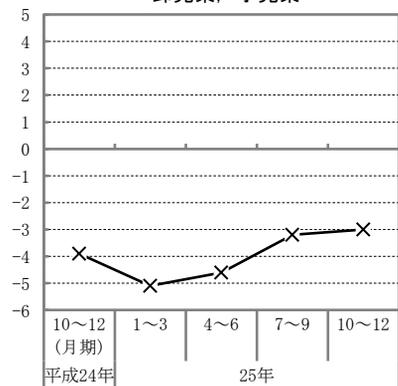


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年10～12月期）の業況判断DIは(-)61.2で、前期（平成25年7～9月期）(-63.9)に比べ、2.7ポイント改善した。

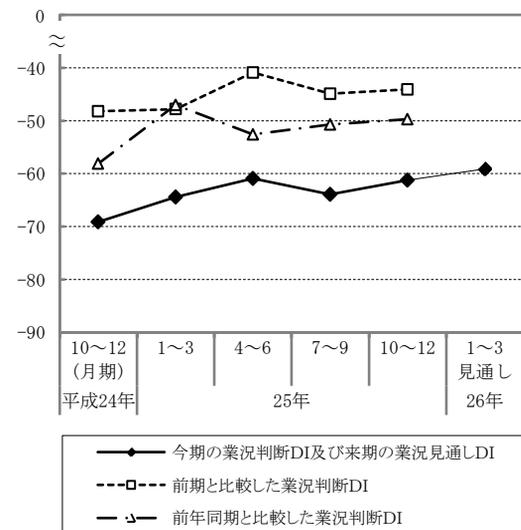
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)44.1で、前期(-44.9)に比べ、0.8ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成24年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)49.7で、前期(-50.7)に比べ、1.0ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年1～3月期）の業況見通しDIは(-)59.1で、今期の業況判断(-61.2)に比べ、2.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

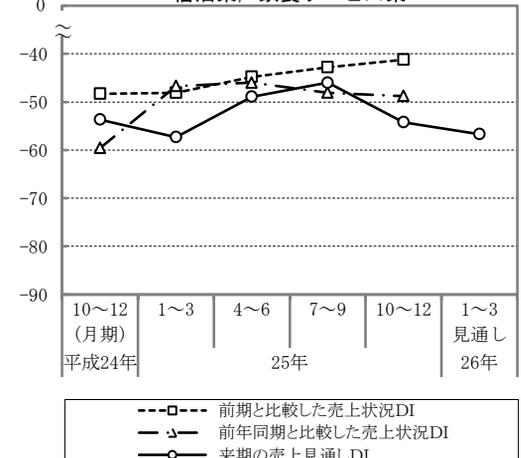
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)41.2で、前期(-42.8)に比べ、1.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.8で、前期(-48.1)に比べ、0.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)56.7で、前期における今期の売上見通し(-54.2)に比べ、2.5ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

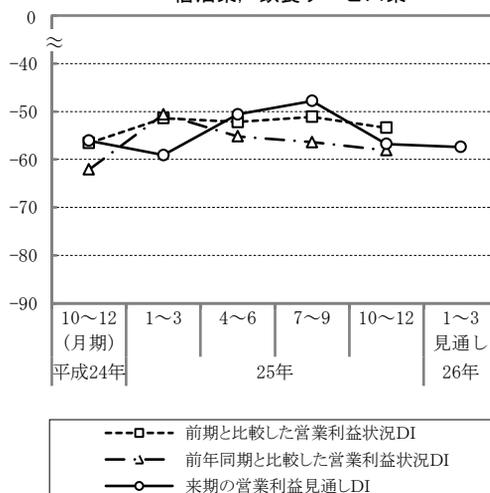
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)53.4 で、前期 (-51.1) に比べ、2.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)58.1 で、前期 (-56.4) に比べ、1.7ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)57.4 で、前期における今期の営業利益見通し (-56.8) に比べ、0.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.3 で、前期 (+7.4) に比べ、5.1ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)40.7 で、前期 (-40.3) に比べ、0.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)43.5 で、前期 (-41.2) に比べ、2.3ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.4 で、前期 (-4.7) に比べ、1.7ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

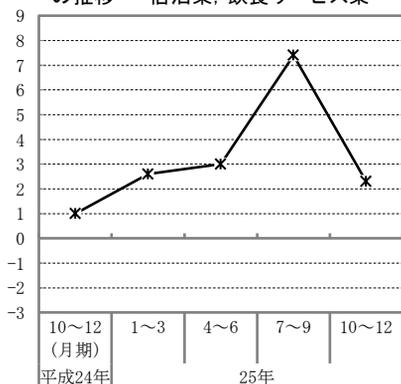


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

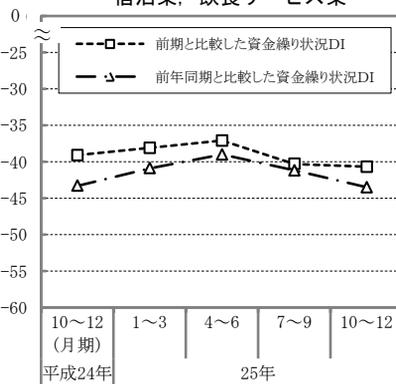
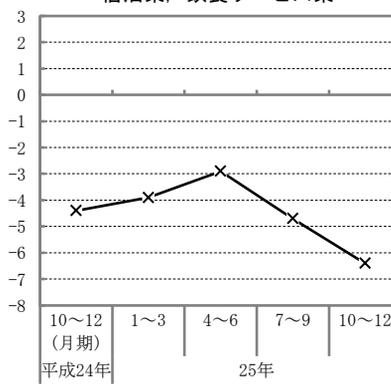


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

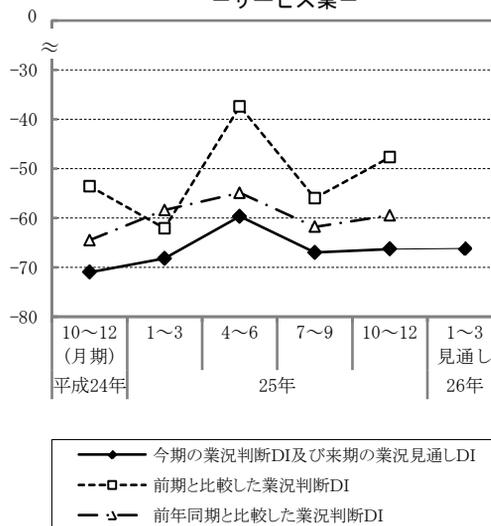
① 今期の業況

- ア 今期（平成25年10～12月期）の業況判断DIは(-)66.3で、前期（平成25年7～9月期）(-67.0)に比べ、0.7ポイント改善した。
- イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.7で、前期(-56.0)に比べ、8.3ポイント改善した。
- ウ 前年同期（平成24年10～12月期）と比較した業況判断DIは(-)59.5で、前期(-61.8)に比べ、2.3ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成26年1～3月期）の業況見通しDIは(-)66.2で、今期の業況判断(-66.3)に比べ、0.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

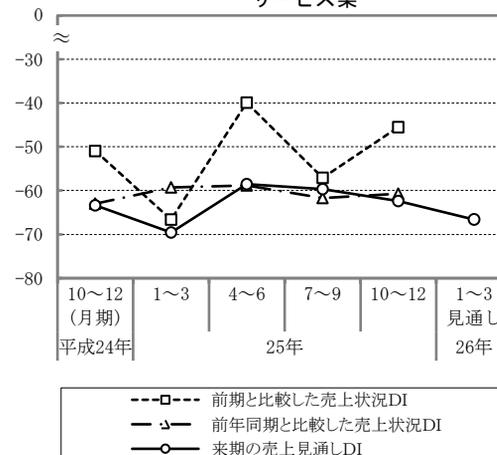
① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況DIは(-)45.5で、前期(-57.1)に比べ、11.6ポイント改善した。
- イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)60.7で、前期(-61.7)に比べ、1.0ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)66.6で、前期における今期の売上見通し(-62.4)に比べ、4.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

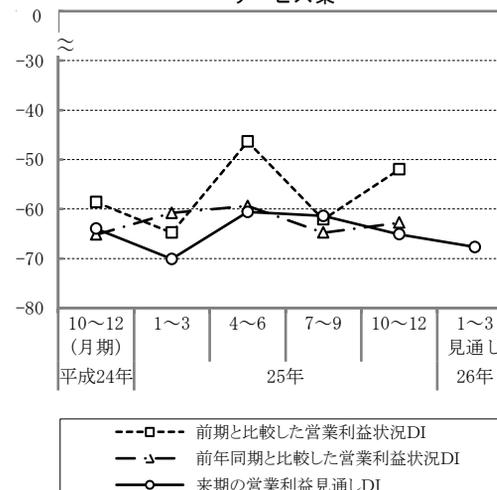
① 今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.0で、前期(-62.1)に比べ、10.1ポイント改善した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)62.8で、前期(-64.8)に比べ、2.0ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)67.7で、前期における今期の営業利益見通し(-65.1)に比べ、2.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.3 で、前期 (+1.5) に比べ、2.8 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.5 で、前期 (-39.5) に比べ、5.0 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.6 で、前期 (-42.6) に比べ、3.0 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)2.7 で、前期 (-1.3) に比べ、1.4 ポイント「不足」が拡大した。

図30 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -サービス業-

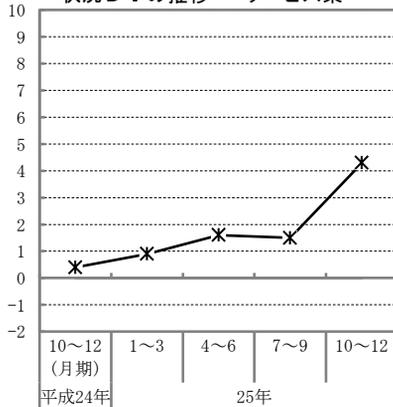


図31 資金繰り状況DIの推移 -サービス業-

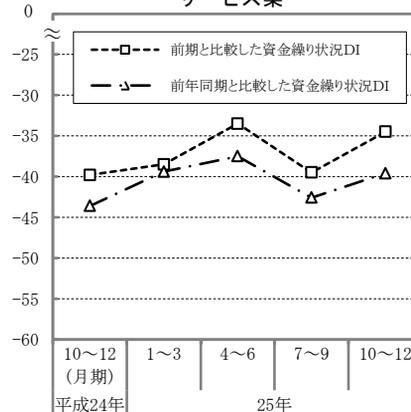
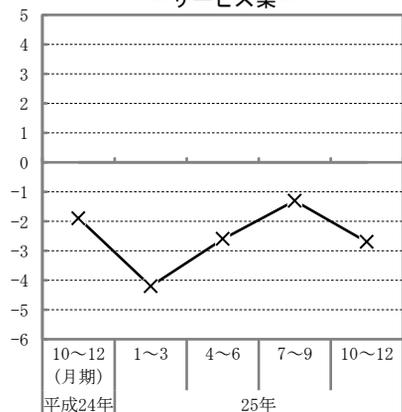


図32 雇用状況DIの推移 -サービス業-



Ⅲ 営業収支

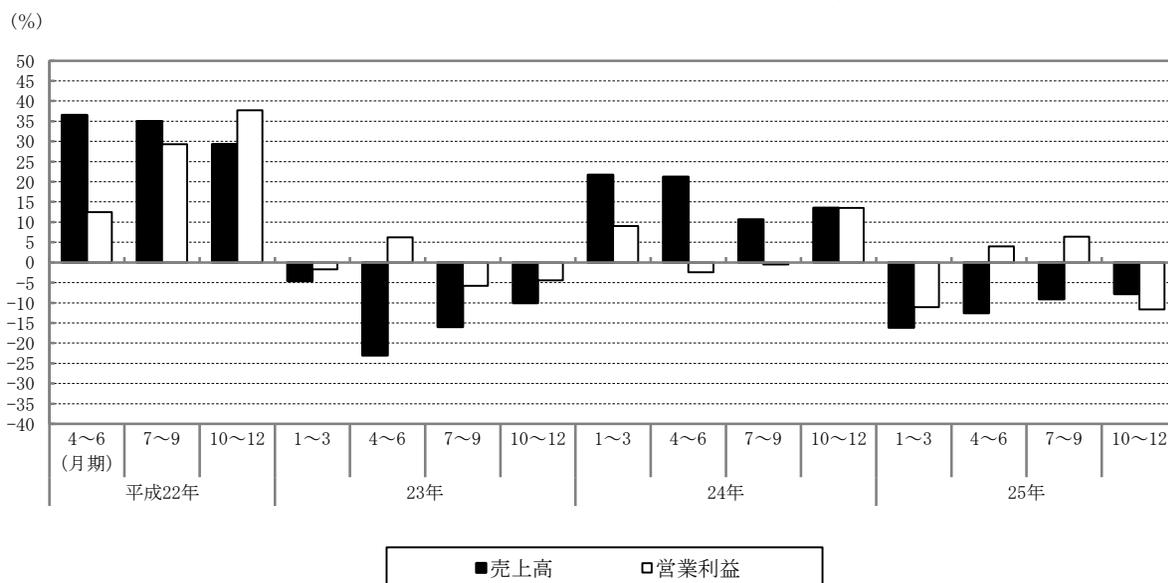
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は247万4000円で、これに対する費用は売上原価が86万8000円、営業費が93万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は67万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)7.8%で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-)11.6%で、3期ぶりに減少した。

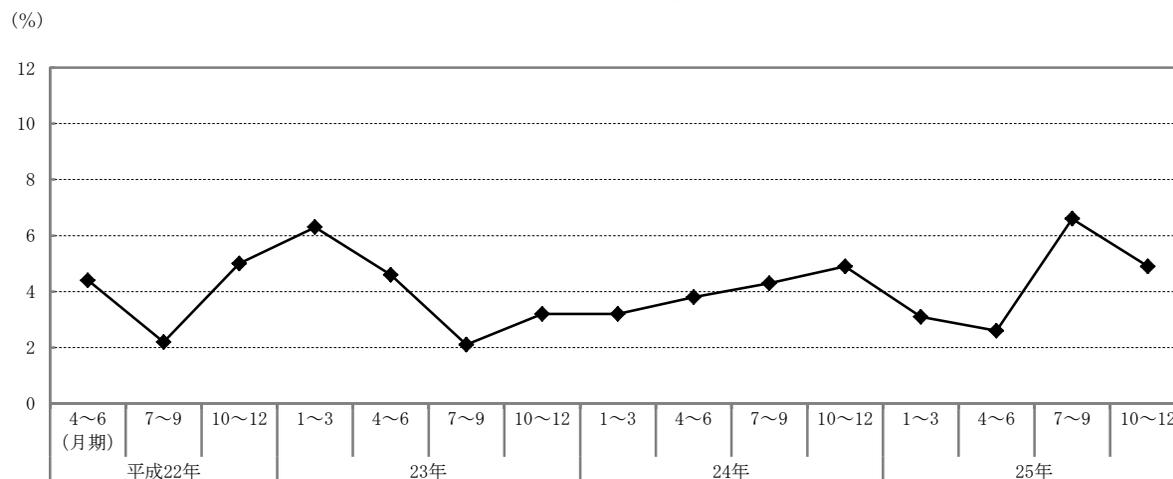
図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -製造業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は12万2000円で、前年同期(13万1000円)を下回った。また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は4.9%で、前年同期(4.9%)と同率となった。

図34 設備投資率の推移 -製造業-

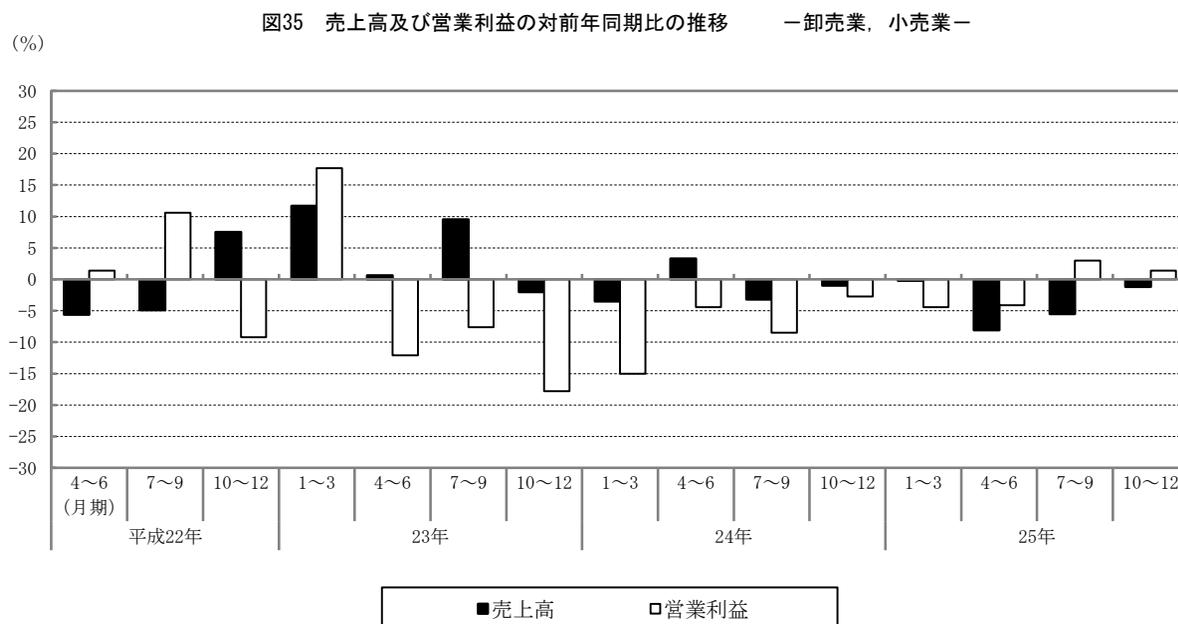


2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

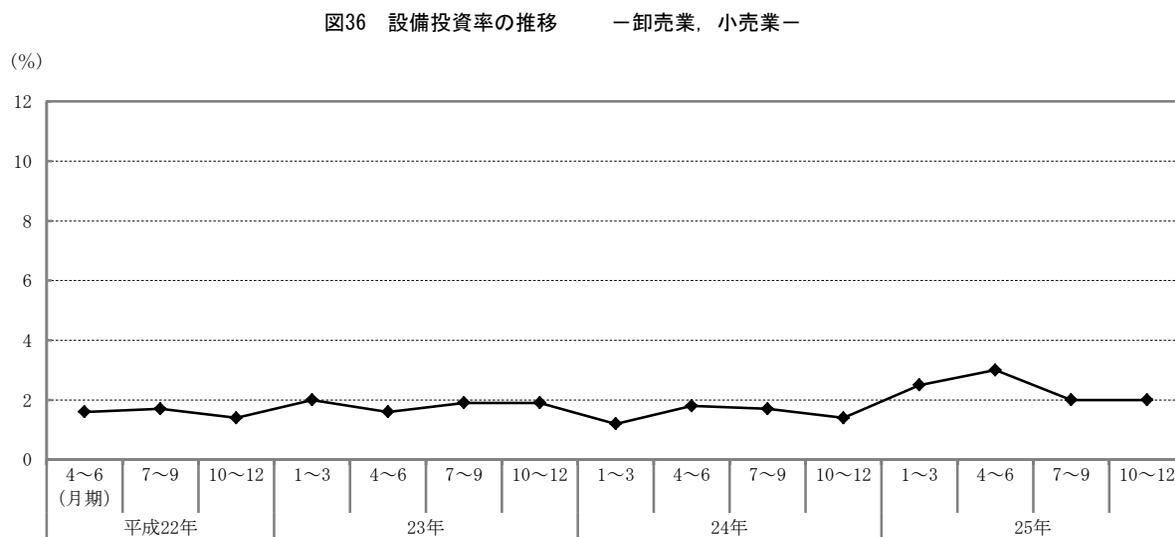
今期の1事業所当たりの売上高は437万6000円で、これに対する費用は売上原価が296万3000円、営業費が97万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.2%で、6期連続で減少した。また、営業利益は(+)1.4%で、2期連続で増加した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は8万9000円で、前年同期(6万円)を上回った。また、設備投資率は2.0%で、前年同期(1.4%)を0.6ポイント上回った。



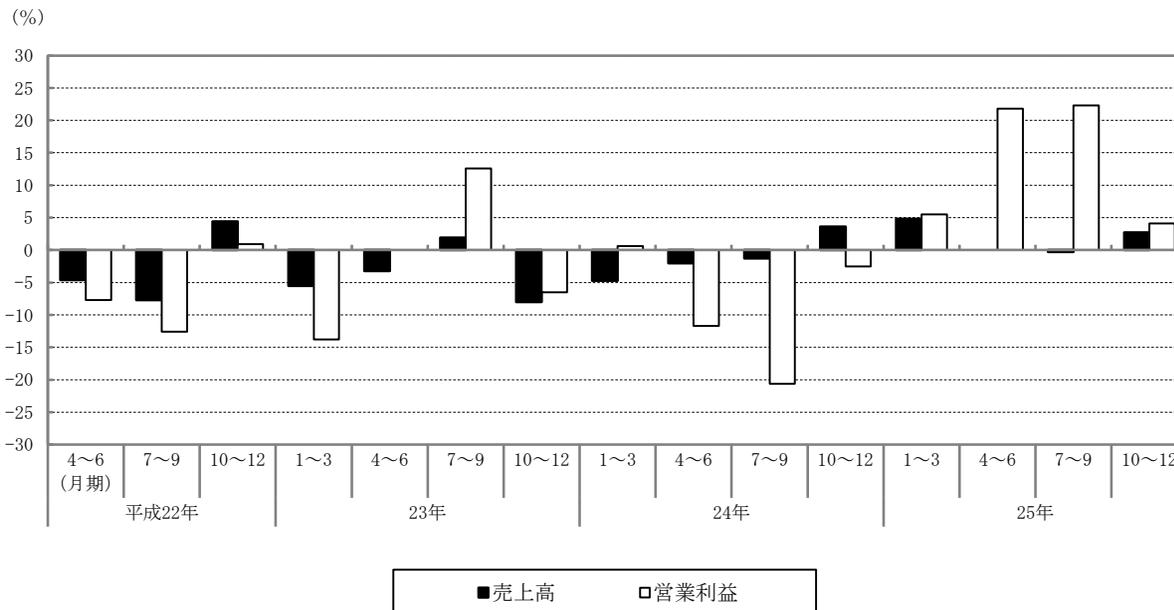
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は 224万9000円 で、これに対する費用は売上原価が 95万8000円、営業費が 88万5000円 となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 40万6000円 となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 2.7% で、3期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 4.1% で、4期連続で増加した。

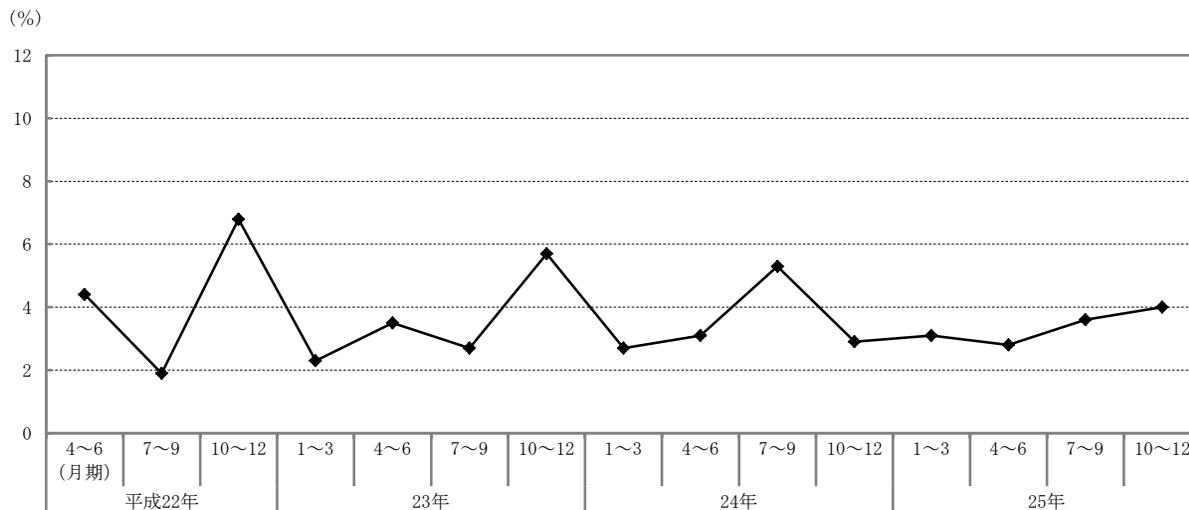
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は 8万9000円 で、前年同期 (6万4000円) を上回った。また、設備投資率は 4.0% で、前年同期 (2.9%) を 1.1 ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



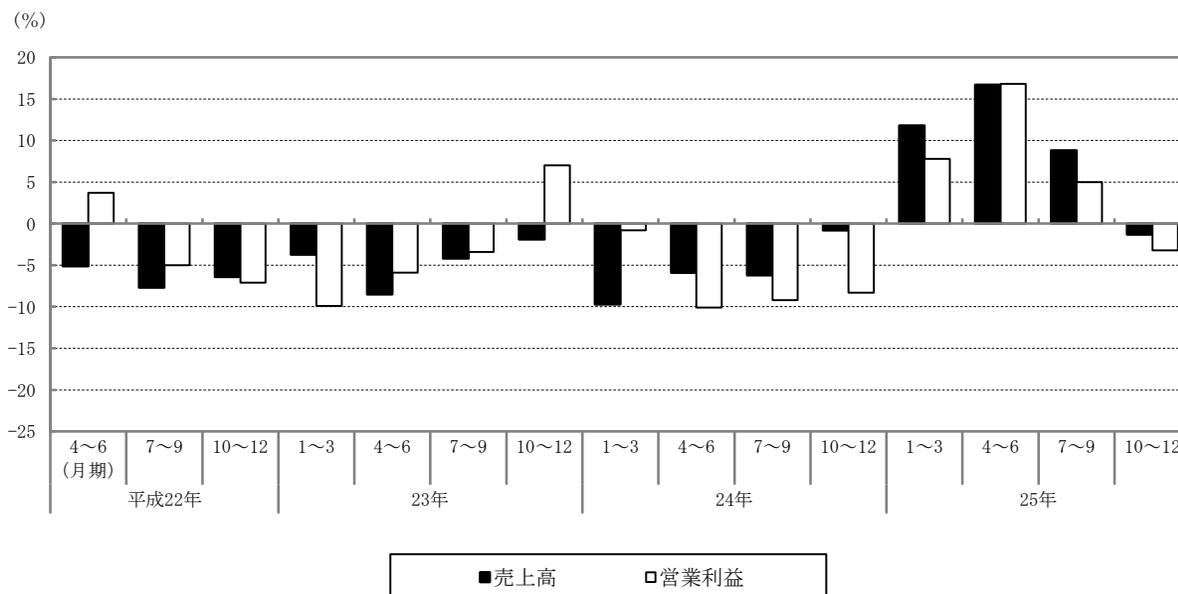
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は127万4000円で、これに対する費用は売上原価が20万1000円、営業費が62万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は44万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.3%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)3.2%で、4期ぶりに減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 サービス業



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万4000円で、前年同期(7万4000円)を下回った。また、設備投資率は3.5%で、前年同期(5.7%)を2.2ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 サービス業

